

今号の主な記事

- ◇誇れるものがあるまち西宮 …4・5面
- ◇震災記念碑公園に記帳所を設置 …2面
- ◇「西宮市文化振興ビジョン(素案)」への意見を募集 …2面
- ◇新春クイズ・わがまちクロスワード! …8面



新春の神社 (西宮神社)

絵・納 健 (西宮美術協会会員)

# 「芸術文化センター」を みんなの広場に

佐渡 裕  
(兵庫県立芸術文化センター芸術監督)

新年あけましておめでとございませう。  
念願の兵庫県立芸術文化センターがオープンし、大ホールで  
ジルヴェスター・ガラ・コンサートのお客様とともに新年を迎  
えることができました。とても感慨深い瞬間を西宮で過ごせた  
ことに、そしてこのセンターにかかわっていただいた多くの方  
に感謝しています。

今から11年前の1995年(平成7年)1月、あの阪神・淡路  
大震災が起こりました。多くの方が亡くなられ、街も大きな被  
害を受けました。しかし、あの震災から、手をつなぎ、助け合  
い、そして悲しみの中から心のきずなを学びました。

その兵庫県だからこそ、もつと強くやさしい街をつくれるの  
ではないか、芸術を通して、文化を通して、まちづくりの力に  
なれるのではと考えて、兵庫県立芸術文化センターの芸術監督  
を務めることにしました。

センターには、大・中・小の3つのホールがあり、質の高い  
コンサートやオペラ、お芝居などを、お年寄りから子どもまで、  
できるだけ多くの人たちが楽しめるようにしたいと考えていま  
す。共通ロビーは、公演のない日も気軽に訪ねることができ  
ます。多くの方に親しまれる、広場のようなセンターにと考え  
ています。

また、センター専属の兵庫芸術文化センター管弦楽団も誕生  
しました。オープニングコンサート「第9交響曲」で、このオ  
ーケストラの実力をみなさんにお示しできたと思っています。  
楽団員は世界中から若者がそろいました。フレッシュユでインタ  
ーナショナルで、まだまだ成長が楽しみなオーケストラです。  
センターでの演奏会だけでなく、アウトリーチ活動といって、  
街に出かけていく活動もします。いろいろな街で、多くの人と  
ふれあえる、そんなオーケストラでありたいと思っています。  
兵庫県立芸術文化センターと管弦楽団が、西宮市民のみなさ  
んに親しまれ、愛されることを願っています。